



01 寄生 02 都市個性の損失 03 余白=地域個性 04 余白の定義 05 プロトタイプとしての選定

**01 寄生**  
自然界における寄生は、宿主に対する寄生者の一方的な搾取といえ、搾取される側の関係性であるといえる。本計画において「寄生」を「二者において関係性を生み出すもの」と捉え、建築に応用する。

**02 都市個性の損失**  
現在の都市は、高層化や過密である状況により、コミュニティ形成の元であった余白は失われ、残存する余白も都市スケール化、人々の手に負えない現状である。互いの生活が認知できず、結果、都市は無個性化されつつある。

**03 余白=地域個性**  
都市における余白は、地域住民の生活の場であり、それらは人々の手によって育まれるもの「可変の余地」を保有していることで地域個性として存在している。人々の生活、その風景は都市個性の一つであると考え、その表出を目的とする。

**04 余白の定義**  
「余白」を建物の隙間や空きテナント、駐車場といった「都市の空隙」または「可変の余地」を持つ空間と定義する。「都市の空隙」は各地域によって異なり、その場所固有の余白として存在している。

**05 プロトタイプとしての選定**  
対象地は、寄生の可能性を示せる場所を選定。選定条件として、①建物が単体かつ内部で完結（建物と街のつながりが弱い）、②地形的特徴を持たない（フラットな地形で可能性を示す）、③様々なスケール・用途の建物が混在（上り寄生地帯を示す）の3つの条件から寄生地帯を選定。

06 対象敷地 (錦糸町) 07 寄生種類 08 余白の寄生方法 09 寄生モデルの作成 10 寄生ルール

**06 対象敷地 (錦糸町)**  
対象敷地は「プロトタイプ」として、東京都墨田区錦糸町を選定。

**07 寄生種類**  
寄生の種類である、「外部寄生」（宿主の外部に寄生）、「内部寄生」（宿主の内部に寄生）、「捕食寄生」（宿主を捕食する寄生）、「高次寄生」（寄生者が寄生者に寄生）をそれぞれ図式化し、設計手法として用いる。

**08 余白の寄生方法**  
寄生の種類をもとに、余白の寄生方法を言語化、組み合わせることで、余白の寄生方法を創出。余白の寄生が異なる寄生の余地となるよう、空間構成を行う。「余白が寄生」することで、「他の寄生者による新たな寄生」や、「人々の生活・感情」が余白に寄生するなど、新たな余地・寄生が生まれ、都市コミュニティ形成へとつながる。

**09 寄生モデルの作成**  
錦糸町における余白の扱われ方・寄生的要素を分析し、抽出を行う。ファードや空間、建築的要素などの要素を抽出し、「寄生モデル」を作成する。抽出した寄生モデルを「余白が寄生」に対して寄生させ、異なる寄生となるよう空間構成を行う。

**10 寄生ルール**  
寄生のルールとして、「宿主のコア(核)を避けて」寄生を行う。宿主が消滅してしまうと寄生者自身が生存できなくなってしまうためである。

**11 寄生過程**  
寄生の過程について、「1. 都市の空隙に対して寄生」→「2. 内部に侵入」→「3. 浸食が進む(a)外部へ(b)他の寄生者へ(c)内部で留まる」の順に寄生が進行していく。寄生の結果、宿主が変化する場合も存在。

**12 偶発的余白**  
「寄生」により浸食されることで、既存空間は「機能喪失可能性」が生じる。この場合、既存空間は、都市の空隙へと還元される。また、浸食された結果として生まれる「偶発的余白」は新たな寄生の余地となり、異なる寄生を内包する。

14 異なる都市の空隙 15 敷地境界線を超える 16 都市コミュニティの形成

**14 異なる都市の空隙**  
「空隙」は都市によって異なる扱う空隙が異なるため、それぞれ異なる空隙に合わせて寄生が変化する。本提案は、(a)混合スケールであり、扱う空隙の差が大きくなるため、空隙の細分化や可視化によって、都市スケール化されたものをユーティリティスケールに近づけ、人々の手に負えるよう寄生を行う。(a)住宅スケールでは、よりユーティリティスケールに近い空隙となり、フラットな環境が作り出される。また、(b)都市スケールでは、都市スケール化された空隙が寄生により有効活用される。

**15 敷地境界線を超える**  
寄生という小さな操作が重なり、反復し合うことで余白が都市全体に寄生。都市寄生による異なる風景を表現し、失われたコミュニティを再生し、多様な関係性を創り上げる。寄生した余白に、「人々の感情・生活」が寄生し敷地境界線を超えた新たな繋がりが生まれ、部屋・建物・街区・地域・都市を超えて広がっていく。パタパタであった建物が一つの建物に統合される。

**16 都市コミュニティの形成**  
寄生により都市コミュニティの形成が促される。建物や上下階との接続が行われることで、GLのように建物を縦横無尽に歩くことが出来、上下階のつながりが生み出される。余白に生活が溢れ出すことで新たなコミュニティ形成へとつながり、寄生による余白を通して地域社会のつながりを生み出していく。

17 20の寄生タイプ

**01. オフィス案 a**  
f. 買入 h. 切削 視線操作  
オフィスに「被覆」「切削」が寄生。オフィスを断片的に繋ぎつつ、機能を創出。外部環境を緩やかに取り入れながら、上下階を結ぶ。

**02. シェアハウス案**  
a. 連結 d. 重合 f. 買入  
住戸部分に「重合」「買入」が寄生。隣接する集合住宅をシェアハウス化。余白部分が「共有空間」になり、重なり合いつつ、断片的につながる。既存余白空間は創造的に変化する。

**03. ホテル案一付加**  
e. 反復 j. 付加  
「建物に泊まる」を「新しく泊まる」ホテルに変換。宿泊客と街との繋がりを強める。また、寄生者が机や椅子の上に上がるなど、多様なタイプを生み出す。

**04. 外壁被覆案**  
g. 被覆 被覆の形成  
外壁面に「被覆」が寄生。場を生み出しつつ、棚や椅子、机として利用可能。内部に侵入しませんが、新たな寄生者が巻き起こるよう寄生する。

**05. 倉庫内包案**  
a. 連結 c. 内包  
倉庫内に「内包」が寄生。隣接するジム・住戸の共有空間となる。「連結」により周囲の建物と接続。ホテル大浴場やジムなどが一般開放。フロア面の変化による新たな関係性が生まれる。

**06. 住戸切削案 I**  
h. 切削 視線操作  
住戸に「切削」が寄生。視線操作により住人に選択肢を与え、都市と住戸を緩やかに接続・切断可能に。寄生部分が中間領域として作用する。

**07. 住戸拡張案 α**  
i. 拡張 空間の私有  
住戸に「拡張」が寄生。空間の有効化により、拡張された部分が生活に幅を与える。外部に対する表現の場として機能するため、アーティストが建物に集まり、いくつか個人ギャラリーとして機能する。

**08. 住戸切削案 II**  
h. 切削 j. 付加 中間領域形成  
住戸に「切削」「付加」が寄生。更に更に寄生することで、都市との間に中間領域を形成する。外部化された部屋に生活が溢み出る。

**09. 余白分割案**  
b. 分割 j. 付加 中間領域可視化  
外部環境に「分割」「付加」が寄生。都市スケール化された余白をユーティリティスケールに分割するとともに、デグスケールに近い外部環境を有効活用する。階の延長として、生活の場を生み出す。

**10. オフィス案 b**  
f. 買入 h. 切削 i. 拡張  
オフィスに「買入」「切削」「拡張」が寄生。内部を偶発的余白が生じ、機能を失った客室がロビーやキャブリーなどの、ホテルに新たな用途が付け加えられる。

**11. 飲食店案 I**  
h. 切削 空間の私有化  
飲食店に「切削」が寄生。寄生部分に機能が移ることで、内外の選択が可能に。結果、路地的に機能、賑わいを表出させる。

**12. 入居案**  
h. 切削  
クリニック・オフィスに「切削」が寄生。出迎に対する「入居」として機能。外部環境を引き込みつつ、中間領域を形成。生活が溢み、内外を緩やかに接続する。

**13. ホテル案一被覆**  
g. 被覆 反復可視化 切り取り 内包につなぐ  
ホテルに「被覆」が寄生。被覆線を可視化しつつ、都市スケール化した余白を切取る。また、被覆した余白が内部に侵入することで内外を緩やかに近づける。浸食された内部に新たな用途が入り込む。

**14. ホテル案一買入**  
f. 買入 h. 切削  
ホテルに「買入」「切削」が寄生。内部に偶発的余白が生じ、機能を失った客室がロビーやキャブリーなどの、ホテルに新たな用途が付け加えられる。

**15. 飲食店重合案**  
d. 重合 f. 買入 i. 拡張 景色の連続  
隣接する3つの飲食店に「重合」「買入」が寄生。道路面において余白が買入、重合することで内部の景色を連続的に外部に表出。賑わいを都市に付与する。

**16. 住戸拡張案 β**  
i. 拡張 様々な視点  
住戸ベランダ部分に「拡張」が寄生。さらに多様な開口が寄生することで、住戸と都市との間に中間領域を形成。選択的に都市と接続可能に。

**17. 住戸拡張案 γ**  
j. 付加 視線操作 パンファーム  
住戸ベランダ部分に「拡張」が寄生。ネットが寄生することで、住戸と都市との間に中間領域を形成。選択的に都市と接続可能に。

**18. 飲食店切削案 2**  
h. 切削  
飲食店に「切削」が寄生。角に寄生することで内部を露出。新規の客を呼び込みながら、賑わいが外部に溢れだす。二階住戸部分に浸食が進んでいく。

**19. 美容室割案**  
h. 切削  
美容室に「切削」が寄生。地域住民も利用可能な休憩や交流スペースとして機能。場を生み出しながら、内部と都市を緩やかに接続する。新たな人々の関係性を生み出す。

**20. 付加案**  
j. 付加 中間領域形成  
住戸ベランダ部分に「付加」が寄生。中間領域を形成。選択的に都市と接続可能に。